※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	MOSA　2　教育芸術社						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト等で評価します。実技テストは、授業中に受講生の前で披露する発表会の形式で行います。
・音楽の学習は仲間と共に実際にやってみて、試してみてこそ価値のあるものとなり、そのような活動を通じて感性が豊かになります。
・音楽が生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願います。

２　学習の到達目標

a.　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深める。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現する。
b.　音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりする。
c.　音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現および鑑賞の学習に取り組もうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	表現を工夫してリコーダーを演奏する	＜器楽＞表現の工夫とアンサンブル	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察	実技テスト	ワークシート
	映画音楽を観賞しよう	＜鑑賞＞ 映画を彩る音楽	a:曲想や表現上の音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりついて理解を深めている。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを深く味わって聴いている。 c: ：曲想や表現上の音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	小テスト		ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	表現を工夫して演奏する	＜器楽＞ ギターの基本的な奏法 様々な楽器によるアンサンブル	a:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技術を身に付け、器楽で表現している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c: 曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察	実技テスト	ワークシート
	ミュージカル	＜鑑賞＞ ミュージカル「ウエストサイドストーリー」	a:曲想と音楽の構造との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌っているかについて独自の表現意図をもっている。 c: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察		ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	構成を工夫した作品	＜グループ発表＞ 構成を工夫して作品をつくる	a:音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽を作るかについて独自の表現意図をもっている。 c: 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	観察	実技テスト	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度